



立志 鍛錬 協調

令和2年1月10日号

立三申

立川市立立川第三中学校  
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

新年に臨んで

校長 山口 真一

新しい年が始まりました。保護者、地域の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。穏やかな日が続いた冬休みが終わり、3学期が順調にスタートしました。本校では休み中に大きな事故やけがもなく、始業式を迎えることができました。ご家庭のご協力に感謝いたします。

さて、2020年は2月が29日までである閏年です。これは、季節と暦にズレが生じるので、西暦が4で割り切れる年をうるう年として2月を1日多くしています。そしてこの年にオリンピックを開催します。

現在、東京都は7月24日からのオリンピック・パラリンピック開催に向けて、準備をすすめています。また都内全公立学校でもこの数年間、オリンピック・パラリンピック教育に取り組んで来ました。伝統と文化、そして他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目的としています。ここまで本校でも、様々な取組をしてきました。最近も留学生との交流会、車椅子バスケットボール選手の講演、近代3種競技への参加など、とても充実したものとなっています。その集大成として、東京都が都内の全公立学校の生徒を対象として、オリ・パラ競技を観戦する機会を提供してくれました。

本校は7月下旬、味の素スタジアムでラグビーの観戦を予定しています。昨年、ラグビーワールドカップが日本で開催され、ラグビーに対する興味・関心が高まっているところで、この機会を得たことはとても嬉しいことです。また聖火リレーが3月26日に福島県を出発し、全国を回ります。47都道府県の最後7月13日に立川市を走ることが予定されています。一般参加もできるので、市内からの聖火ランナーも出場するかもしれません。こうした取組を通して、オリンピック・パラリンピック競技大会の究極の目標「平和でより良い世界の構築に貢献する」ことを理解し、それぞれの立場で協力できればと思います。